

## 第56回マイコトキシン研究会学術講演会プログラム

日時：平成16年8月30日(月) 9:40 - 17:00

会場：熊本県民交流館パレア(地図参照：鶴屋デパート東館から入りエレベーターで10Fに上がって下さい。デパートは10時開店ですが10時前でもパレアにはエレベーターで上がれます。)

世話人：(独)九州沖縄農業研究センター 中島隆

参加費：会員 1,000円、非会員 1,500円、  
賛助会員 無料(ただし1社2名限定、3名以上は非会員と同額)

9:40 開 会

9:45 一般講演

座長 高橋治男(千葉県衛研)

(1) マイコのゼアラレノン汚染とその原因菌類について

西脇真理子<sup>1)</sup>、松丸恵子<sup>1)</sup>、一戸正勝<sup>1)</sup>、石黒瑛一<sup>2)</sup>

1) 東京家政大、2) 肥飼料検

(2) 輸入及び国産ハトムギのカビ毒汚染の原因菌類について

松丸恵子<sup>1)</sup>、半田裕子<sup>1)</sup>、吉野絵美<sup>1)</sup>、一戸正勝<sup>1)</sup>、岡野清志<sup>2)</sup>

1) 東京家政大、2) マイコトキシン検査協会

(3) 国産ハトムギから分離されるフザリウム属菌のマイコトキシン産生性

佐藤慎士<sup>1)</sup>、宮内和則<sup>1)</sup>、杉浦義紹<sup>2)</sup>、芳澤宅實<sup>1)</sup>

1) 香川大、2) 神戸市環境研

座長 田中健治(食品総研)

(4) 4地域における市販小麦粉および小麦含有製品中のDONとNIVの汚染実態

伊藤嘉典<sup>1)</sup>、服部一也<sup>2)</sup>、田中宏輝<sup>3)</sup>、小西良子<sup>1)</sup>

1) 国立衛研、2) 東京農大、3) 岐阜大連合大学院

(5) 2003年産いもち病罹病水稻から分離した*Fusarium*菌のトリコテセンマイコトキシン生産性及び米粒中のトキシン汚染

田中敏嗣<sup>1)</sup>、杉浦義紹<sup>1)</sup>、宇田川俊一<sup>2)</sup>、田中宏輝<sup>3)</sup>、小西良子<sup>4)</sup>、高鳥浩介<sup>4)</sup>、滝埜昌彦<sup>5)</sup>

1) 神戸市環境研、2) 日本食品分析センター、3) 岐阜大連合大学院、4) 国立衛研、5) 横河アナリティカルシステムズ

11:00 (休憩)

11:15 一般講演

座長 作田庄平(東京大)

(6) Study of the pathway from O-methylsterigmatocystin to aflatoxins B1 and G1 in aflatoxin biosynthesis.

Hongmei ZENG<sup>1)</sup>、Hiroyuki Nakagawa<sup>1)</sup>、Emi Sakuno<sup>2)</sup>、Hiromitsu Nakajima<sup>2)</sup>、Kimiko Yabe<sup>1)</sup>

1) National Food Research Institute、2) Tottori University

(7) Identification of the protein kinase gene, pka-c, as a putative aflatoxin biosynthesis regulatory pathway gene.

Jingjing Cai, Yasuhiro Ito, Kimiko Yabe

National Food Research Institute.

座長 田端節子 (都健安研セ)

(8) 糸状菌の培養に伴い発生する揮発性有機化合物(MVOC)の検出手法

中島大介<sup>1)</sup>、石井瑠里<sup>1)</sup>、影山志保<sup>1)</sup>、陰地義樹<sup>2)</sup>、峯木茂<sup>3)</sup>、諸岡信久<sup>4)</sup>、後藤純雄<sup>1)</sup>

1) 国立環研、2) 奈良県保環研、3) 東京理科大、4) 郡山女子大

12:00 (昼食) 幹事会 (10F:会議室6)

13:00 一般講演

座長 杉浦義紹 (神戸市環保健)

(9) ヘミンによるアフラトキシン B1 の無毒化

中川博之<sup>1)</sup>、中島廣光<sup>2)</sup>、矢部希見子<sup>1)</sup>

1) 食品総研、2) 鳥取大

(10) タイ豚飼料の真菌とその代謝物の細胞毒性評価

Prapeuk Tangmunkhony<sup>1)</sup>、Amnart Poapolatthep<sup>1)</sup>、朴奉柱<sup>2)</sup>、相原真紀<sup>2)</sup>、田中宏輝<sup>2)</sup>、小西良子<sup>2)</sup>、高島浩介<sup>2)</sup>、熊谷進<sup>3)</sup>

1) Kasetsart University、2) 国立衛研、3) 東京大

13:30 特別講演 座長 一戸正勝 (東京家政大)

「ムギ類赤かび病とマイコトキシン汚染防止対策」

中島隆 (九州沖縄農業研究センター)

14:20 (休憩)

シンポジウム 「ムギ類赤かび病とマイコトキシンをめぐる最近の話題」

座長 熊谷進 (東京大)、中島隆 (九州沖縄農研)

14:35 1. 赤かび病に関わるマイコトキシンの毒性と小麦における DON 汚染レベルの暫定基準について

国立医薬品食品衛生研究所

小西良子

15:10 2. ムギ類赤かび病菌の分類の現状

農業生物資源研究所

青木孝之

15:45 3. ムギ類赤かび病菌 *Fusarium graminearum* のゲノム解析とその利用

岐阜大学生命科学総合実験センター

須賀晴久

16:20 4. 農林水産省におけるカビ毒のリスク管理

農林水産省 消費・安全局農産安全管理課 上久保房夫

16:40 5. 総合討論

17:00 閉会

17:10 - 19:00 懇親会

場所: 鶴屋デパート東館7階カーネーションサロン (講演会場と同じビル)

会費: 3,000円 (当日徴収します)